

# 防災公共推進計画書

～平川市～

令和7年度

青 森 県

# 防災公共推進計画の更新ポイント

今回の防災公共推進計画の更新ポイントを、下記の4項目（津波浸水想定区域に該当しない市町村は3項目）に重点を置き、各市町村の防災公共推進計画について再検討ならびに更新を行ったものである。

## ①地震・津波災害

将来起こりうる最大クラスの地震・津波（太平洋側海溝型地震、日本海側海溝型地震、内陸直下型地震）を想定した新たな津波浸水想定区域を基に、従前の津波浸水想定区域から区域が拡大した地区に対して、対象市町村から現状を確認し、避難場所、避難目標地点、避難限界範囲、避難経路等の再検討に重点を置き、更新を行った。

## ②風水害

国・県管理河川のうち、洪水予報河川及び水位周知河川における従前の洪水浸水想定区域から区域が拡大した地区に対して、対象市町村から現状を確認し、避難場所、避難経路等の再検討に重点を置き、更新を行った。

## ③危険箇所

県で指定している危険箇所（河川砂防危険箇所、林政危険地区、道路防災点検、橋梁危険箇所）は道路を保全対象としている危険箇所が多く、かつ各地に点在していることから、避難経路を確保する観点で現時点の危険箇所及び市町村の施策の整備状況を確認し、孤立の恐れのある集落の解消に重点を置き、更新を行った。

## ④市町村へのヒアリング

令和3年及び令和4年に本県で発生した大雨災害や令和6年1月に発生した能登半島地震等、近年発生した災害を踏まえ、各市町村における災害時の実体験や被災当時の課題等をヒアリングし、その内容を基に避難場所、避難目標地点、避難限界範囲、避難経路等の再検討に重点を置き、更新を行った。

※津波浸水想定区域に該当する市町村は①～④すべてが該当となり、それ以外の市町村は②、③、④が該当する。



図-1 青森県沿岸区分図

表-1 津波の水位・影響開始時間等一覧表

市町村	海岸線の最大津波高(m)	代表地点					市町村庁舎等の浸水深	
		影響開始時間	第一波到達時間	最大波		代表地点数		
				到達時間	津波水位			
階上町	21.5	12分	32分	44分	17.7	4		
八戸市	26.1	6分	32分	183分	21.0	12		
おいらせ町	24.0	13分	35分	51分	21.1	5		
三沢市	17.1	11分	28分	50分	14.7	11		
六ヶ所村	12.7	3分	20分	23分	8.7	8	村役場：0.5m	
東通村	15.7	3分	19分	33分	10.8	9		
風間浦村	11.5	2分	32分	34分	8.5	7	村役場：7.0m	
大間町	10.7	5分	17分	37分	9.0	4		
佐井村	6.5	5分	10分	204分	4.6	7		
むつ市	陸奥湾	5.4	2分	9分	159分	3.9	20	
	津軽海峡	13.4	4分	31分	37分	10.6	6	
横浜町	5.1	4分	140分	141分	3.6	3		
野辺地町	4.5	10分	41分	161分	3.5	5		
平内町	4.8	3分	10分	107分	4.0	13		
青森市	5.4	0分	2分	97分	4.8	12	県庁：1.9m 市役所：1.4m	
蓬田村	4.4	0分	1分	101分	3.7	5	村役場：2.7m	
外ヶ浜町	陸奥湾	4.9	0分	0分	196分	3.5	7	
	津軽海峡	9.7	2分	20分	211分	5.5	13	
今別町	6.6	2分	29分	213分	5.6	7		
中泊町	22.6	3分	18分	22分	10.4	5		
五所川原市	10.8	10分	18分	19分	7.4	3		
つがる市	11.4	16分	18分	24分	8.9	2		
鱒ヶ沢町	12.1	12分	15分	21分	10.5	5		
深浦町	21.7	3分	6分	11分	12.5	20	町役場：5.9m	

# 防災公共推進計画 中南県土整備事務所管内【平川市】 更新内容概要版

## 1.更新目的

従前の防災公共推進計画に対して、各市町村との協議及び最新の危険箇所情報により現状確認した結果を基に、防災公共推進計画を更新し、地区内における危険箇所等を共有するものである。

## 2.確認項目

整理番号	確認項目	更新要否	備考
1	地形図	○	
2	危険箇所	○	
3	洪水浸水想定区域	○	国管理河川、県管理洪水予報河川、水位周知河川
4	孤立集落	—	孤立する恐れのある集落
5	防災拠点	—	災害時に防災活動の拠点となる施設
6	ヘリ離着陸可能場所	○	孤立した際の物資の輸送手段
7	避難場所	○	R4国土地理院 指定緊急避難場所、防災マップ避難所リスト
8	避難経路	○	人家→避難場所→防災拠点

## 3.更新内容

整理番号	更新内容	更新前	更新後
1	地形図	青森県防災地形図2,500	国土地理院 電子地形図
2	危険箇所	H23河川砂防、林政、道路、橋梁危険箇所	R4河川砂防、林政、道路、橋梁危険箇所
3	洪水浸水想定区域	青森県 平成24年公表	青森県 令和元年10月公表
6	ヘリ離着陸可能場所	H25ワーキングにて設定	R5市町村協議を基に再設定
7	避難場所	地域防災計画 指定避難場所	国土地理院 指定緊急避難場所
8	避難経路	H25ワーキングにて設定	R5市町村協議を基に再設定

## 4.津波設定条件・施策の取組状況・追加検討地区等

項目	検討結果
施策の取組状況	県の危険箇所3箇所事業完了、1箇所事業中、市の施策1箇所事業完了
追加検討地区	追加検討地区なし
新たな取組	特になし
その他	特になし

## 5.更新後の孤立する恐れのある集落数（地区数）

更新前孤立集落数		更新後孤立集落数		孤立解消集落数		孤立解消集落名(地区名)		備考
地震時	大雨時	地震時	大雨時	地震時	大雨時	地震時	大雨時	
6地区	6地区	6地区	6地区	0地区	0地区	なし	なし	検討地区 全7地区

## 6.今後の取組について

項目	内容
防災公共推進計画	おおむね5年毎の防災公共推進計画更新
土砂災害警戒区域	新規抽出箇所による避難場所・避難経路の再検討
洪水浸水想定区域	その他河川の洪水浸水想定区域による避難場所・避難経路の再検討
短期・中期的施策	施策の取組状況確認及び施策の再設定

防災公共推進計画 中南県土整備事務所管内【平川市】 検討結果概要版

1.概要

平川市は、旧平賀町、旧尾上町、旧碓ヶ関村から成り、防災拠点として旧平賀町に平川市役所、旧尾上町に尾上総合支所、旧碓ヶ関村に碓ヶ関総合支所が立地されている。

また、国道7号と主要な県道で連結されているが、経路上に危険箇所が数箇所あるものの対策済みであり、分断される恐れはない。

旧碓ヶ関村の1地区と旧平賀町の山間部では各集落から市役所及び総合支所までの経路上に危険箇所があることから、災害時に分断される恐れがある。

旧尾上町は、危険箇所が少ないことから、市役所までの経路が災害により分断される恐れはない。

市の西側に岩木川水系平川が流れており、洪水浸水想定区域図を見ると、川沿いに浸水が想定される区域が存在する。

平成25年度に県民局及び市町村ワーキングを実施し防災公共推進計画を策定したところだが、今回の更新では、平川市における孤立する恐れのある集落や避難場所が存在する地区、洪水により浸水が想定される地区の全8地区において検討を実施した。

2.避難前提条件の検討

2-1.洪水浸水想定区域図の指定・公表				
河川名	想定最大規模	計画規模	指定者	指定年月日
岩木川水系 平川(豊平橋上流)	平川流域の24時間総雨量 330mm (1000年に一度の確率)	平川流域の24時間総雨量 173mm (30年に一度の確率)	青森県県土整備部 河川砂防課	令和元年10月25日

2-2.洪水避難情報の発令基準 ※地域防災計画より			
河川名	標高	避難判断水位 (レベル3水位)	氾濫危険水位 (レベル4水位)
岩木川水系平川	石川	48.50m	49.00m
	豊平橋	21.90m	22.80m
	百田	4.80m	5.20m

3.施策の取組状況

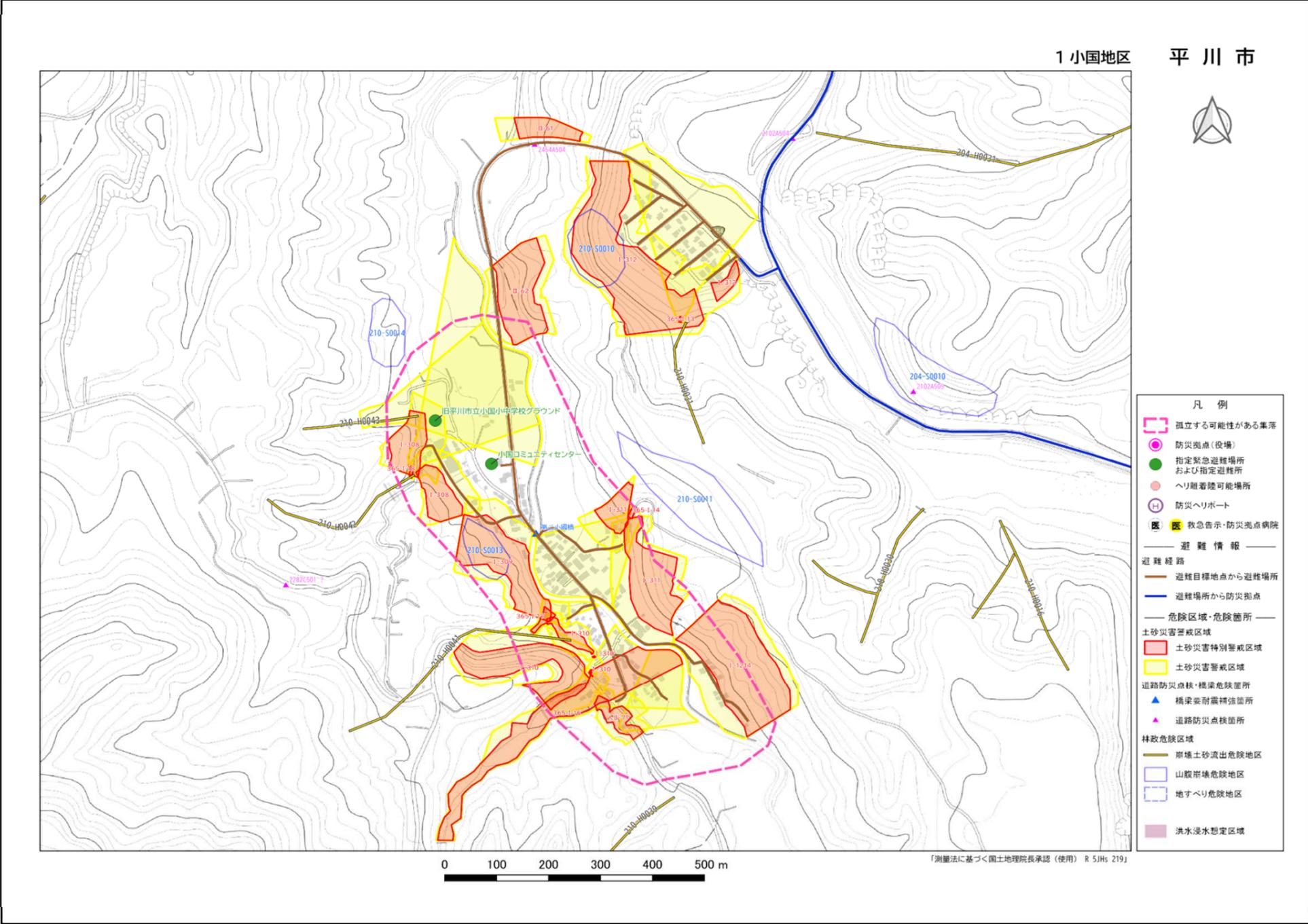
3-1.避難場所確保の取組					
地区名	事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
②葛川	土石流	365-I-02	県	葛川西口沢	【未実施】
⑤平六	-	-	市	JA津軽みらい葛川野菜センター	【事業完了】
3-2.避難経路確保の取組					
地区名	事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
①小国	山腹崩壊	210-S0010	県	小国	【事業完了】
	崩壊土砂流出	210-H0031	県	切明山下(5)	【事業完了】
	土石流	365-I-16	県	小国沢	【事業中】
	急傾斜地	I-1214	県	山下3号区域急傾斜地崩壊対策事業	【事業完了】
②葛川	急傾斜地	人II-73	県	誉田邸4号区域	【未実施】
⑤平六	土石流	361-I-04	県	平六沢	【未実施】
3-3.輸送手段確保の取組					
地区名	事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
-	-	-	-	-	-
3-4.その他の取組					
地区名	事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
-	-	-	-	-	-
3-5.孤立状況解消の取組					
地区名	事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
⑥大木平	土石流	365-I-06	県	大木平沢	【未実施】

4.検討結果一覧表

地区名	孤立集落数		孤立避難場所	利用可能な避難場所	物資の輸送手段	施策実施状況数		
	地震	大雨				事業完了	事業中	未実施
①小国	1	1	-	小国コミュニティセンター他	ヘリポート	3	1	-
②葛川	1	1	-	葛川集会所他	ヘリポート	-	-	2
③切明	1	1	-	葛川集会所他	ヘリポート	-	-	-
④井戸沢	1	1	-	一本木コミュニティセンター	ヘリポート	-	-	-
⑤平六	1	1	-	JA津軽みらい葛川野菜センター他	ヘリポート	1	-	1
⑥大木平	1	1	-	大木平集会所	ヘリポート	-	-	1
⑦久吉	-	-	-	久吉地区集会所他	ヘリポート	-	-	-
(洪水浸水予測地区)	-	-	-	平川市洪水ハザードマップによる	-	-	-	-
小計	6	6	0			4	1	4

防災公共推進計画 中南県土整備事務所管内【平川市】①小国地区（孤立集落）検討結果

1.地区の検討図面



2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所（地区内）		
避難所・避難場所名	避難所種別	
小国コミュニティセンター	指定緊急避難場所	
旧平川市立小国小中学校グラウンド	指定緊急避難場所	
2-2.利用可能な避難場所（地区外）		
避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
2-3.利用不可な避難場所		
避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別

3.避難経路の確保

・小国コミュニティセンターへの避難経路上に危険箇所があるが対策済みである。  
 ・国道102号上にある危険箇所の対策完了後、孤立する恐れは解消する。

事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
山腹崩壊	210-S0010	県	小国	【事業完了】
崩壊土砂流出	210-H0031	県	切明山下(5)	【事業完了】
土石流	365-I-16	県	小国沢	【事業中】
急傾斜地	I-1214	県	山下3号区域急傾斜地崩壊対策事業	【事業完了】

【地区の検討結果】 ※平川市の検討地区内には洪水浸水想定区域はない。

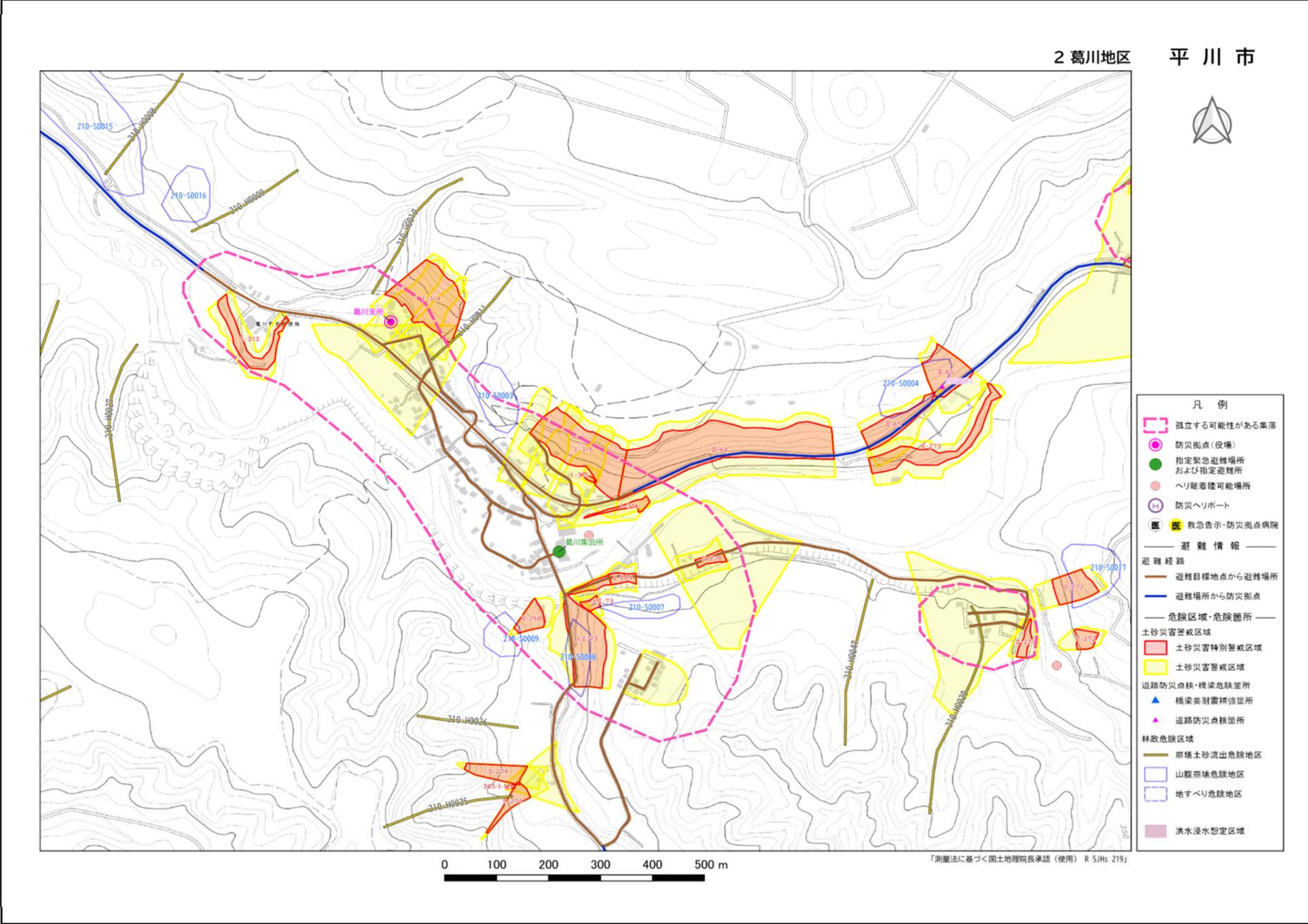
地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
①小国地区 (孤立集落)	検討前			・避難場所は2箇所指定されており安全。	・避難所までの経路上に障害する恐れのある危険箇所はある。	・地区内のヘリポート1箇所利用可能。	・当地区及び国道102号上にある危険箇所の対策完了後、孤立する恐れは解消する。	孤立する
	検討後			・避難場所は小国コミュニティセンターを利用する。(旧平川市立小国小中学校グラウンドは一時避難場所である)	・小国コミュニティセンターへの避難経路上に危険箇所(山腹崩壊210-S0010、崩壊土砂流出210-H0031、土石流365-I-16、急傾斜地I-1214)があるが対策済みである。	・旧平川市立小国小中学校グラウンドはヘリ離着陸可能。	・国道102号上にある危険箇所の対策完了後、孤立する恐れは解消する。	孤立する

4.物資の輸送手段の確保

・旧平川市立小国小中学校グラウンドはヘリ離着陸可能である。

防災公共推進計画 中南県土整備事務所管内【平川市】②葛川地区（孤立集落）検討結果

1.地区の検討図面



2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所（地区内）		
避難所・避難場所名	避難所種別	
葛川集会所	指定緊急避難場所	
旧平川市立葛川小中学校グラウンド	避難場所(無指定)	
2-2.利用可能な避難場所（地区外）		
避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
2-3.利用不可な避難場所		
避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別

3.避難経路の確保

・葛川集会所への避難経路上に危険箇所があり未対策である。  
 ・当地区及び国道102号上にある危険箇所の対策完了後、孤立する恐れは解消する。

事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
土石流	365- I -02	県	葛川西口沢	【未実施】
急傾斜地	人Ⅱ-73	県	誉田邸4号区域	【未実施】

【地区の検討結果】 ※平川市の検討地区内には洪水浸水想定区域はない。

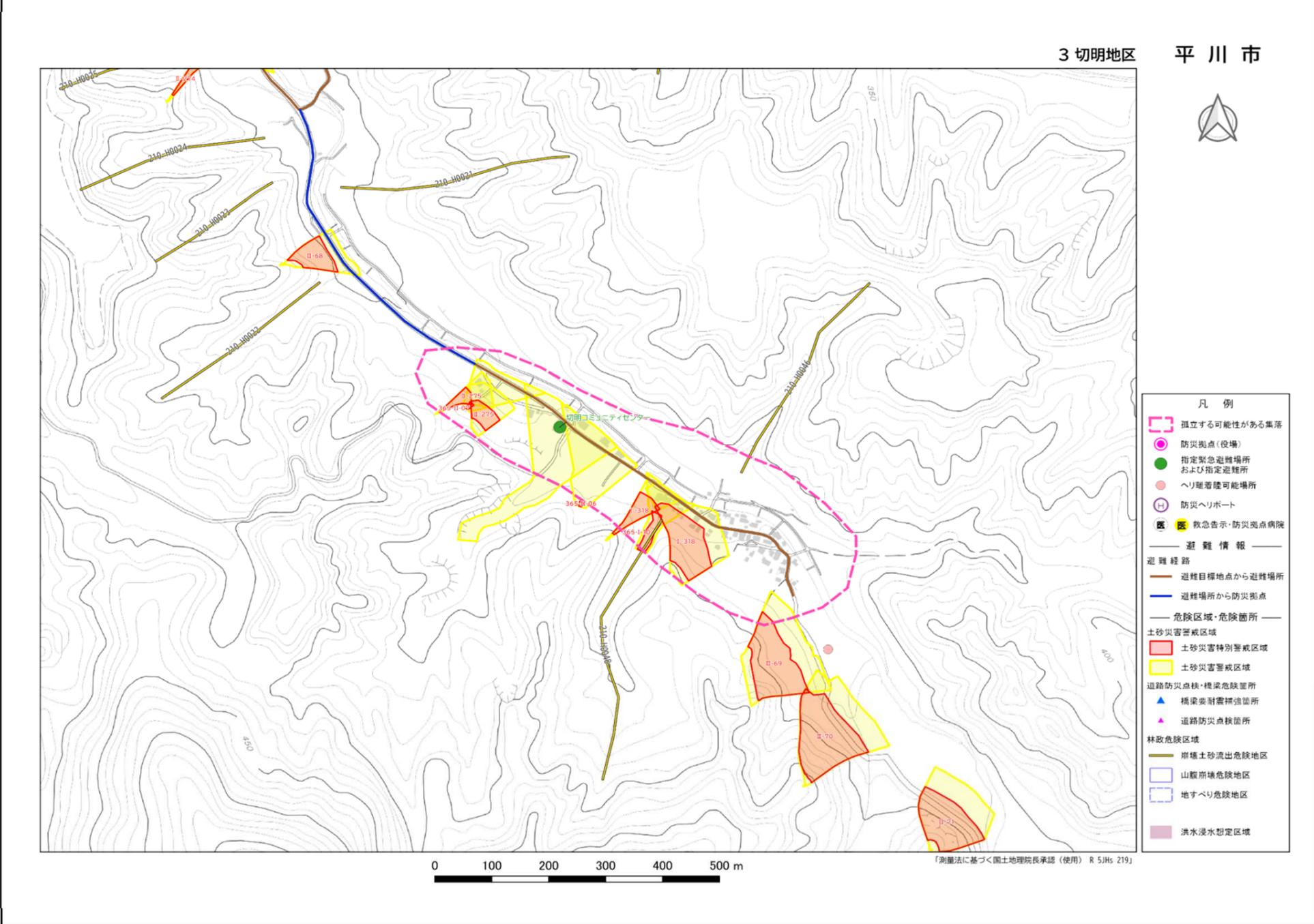
地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
②葛川地区 (孤立集落)	検討前			・避難場所は2箇所指定されており安全。	・避難所までの経路上に障害する恐れのある危険箇所はある。	・地区内のヘリポート1箇所利用可能。	・当地区及び国道102号上にある危険箇所の対策完了後、孤立する恐れは解消する。	孤立する
	検討後			・避難場所は葛川集会所を利用する。(旧平川市立葛川小中学校グラウンドは一時避難場所である)	・葛川集会所への避難経路上に危険箇所(土石流365- I -02、急傾斜地人Ⅱ-73)があり未対策である。	・旧平川市立葛川小中学校グラウンドはヘリ離着陸可能である。	・当地区及び国道102号上にある危険箇所の対策完了後、孤立する恐れは解消する。	孤立する

4.物資の輸送手段の確保

・旧平川市立小国小中学校グラウンドはヘリ離着陸可能である。

防災公共推進計画 中南県土整備事務所管内【平川市】③切明地区（孤立集落）検討結果

1.地区の検討図面



2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所（地区内）		
避難所・避難場所名	避難所種別	
-	-	
-	-	
-	-	
-	-	
-	-	
2-2.利用可能な避難場所（地区外）		
避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
葛川集会所	②葛川地区	指定緊急避難場所
旧平川市立葛川小中学校グラウンド	②葛川地区	避難場所(無指定)
-	-	-
-	-	-
-	-	-
2-3.利用不可な避難場所		
避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別
切明コミュニティセンター	危険箇所内	指定避難所
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-

3.避難経路の確保

・隣接する地区の葛川集会所への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。  
 ・国道102号上にある危険箇所の対策完了後、孤立する恐れは解消する。

事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-

【地区の検討結果】 ※平川市の検討地区内には洪水浸水想定区域はない。

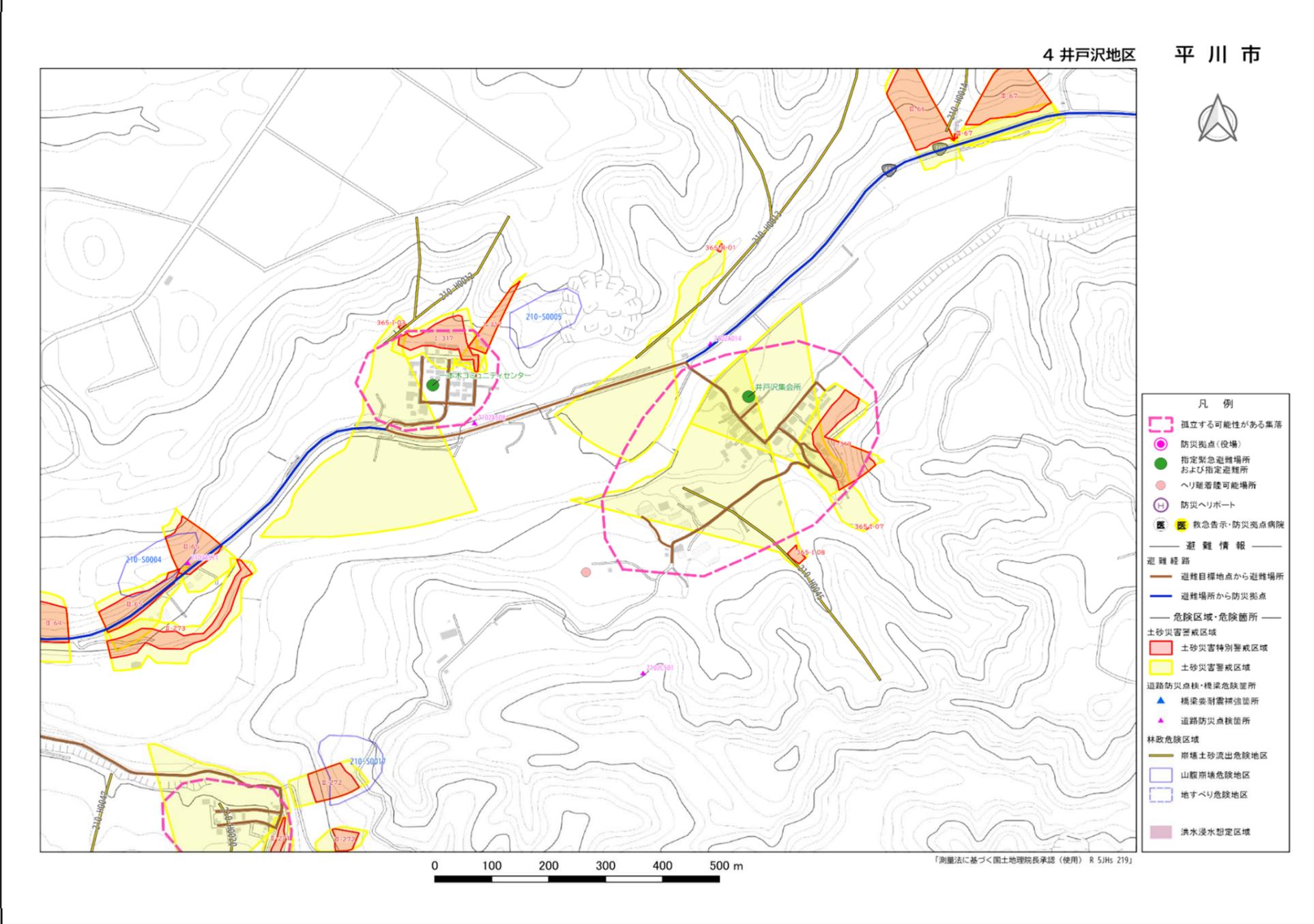
地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
③切明地区 (孤立集落)	検討前			・避難場所は1箇所指定されており安全。	・避難所までの経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。	・隣接する地区のヘリポート1箇所利用可能。	・国道102号上にある危険箇所の対策完了後、孤立する恐れは解消する。	孤立する
	検討後			・避難場所は葛川地区の葛川集会所を利用する。(切明コミュニティセンターは危険箇所内にあるため利用不可である)	・葛川地区の葛川集会所への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。	・葛川地区の旧平川市立葛川小中学校グラウンドはヘリ離着陸可能である。	・国道102号上にある危険箇所の対策完了後、孤立する恐れは解消する。	孤立する

4.物資の輸送手段の確保

・隣接する地区の旧平川市立葛川小中学校グラウンドはヘリ離着陸可能である。

防災公共推進計画 中南県土整備事務所管内【平川市】④井戸沢地区（孤立集落）検討結果

1.地区の検討図面



2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所（地区内）		
避難所・避難場所名	避難所種別	
一本木コミュニティセンター	指定緊急避難場所	
2-2.利用可能な避難場所（地区外）		
避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
2-3.利用不可な避難場所		
避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別
井戸沢集会所	危険箇所内	指定緊急避難場所

3.避難経路の確保

・一本木コミュニティセンターへの避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。  
 ・国道102号上にある危険箇所の対策完了後、孤立する恐れは解消する。

事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況

【地区の検討結果】 ※平川市の検討地区内には洪水浸水想定区域はない。

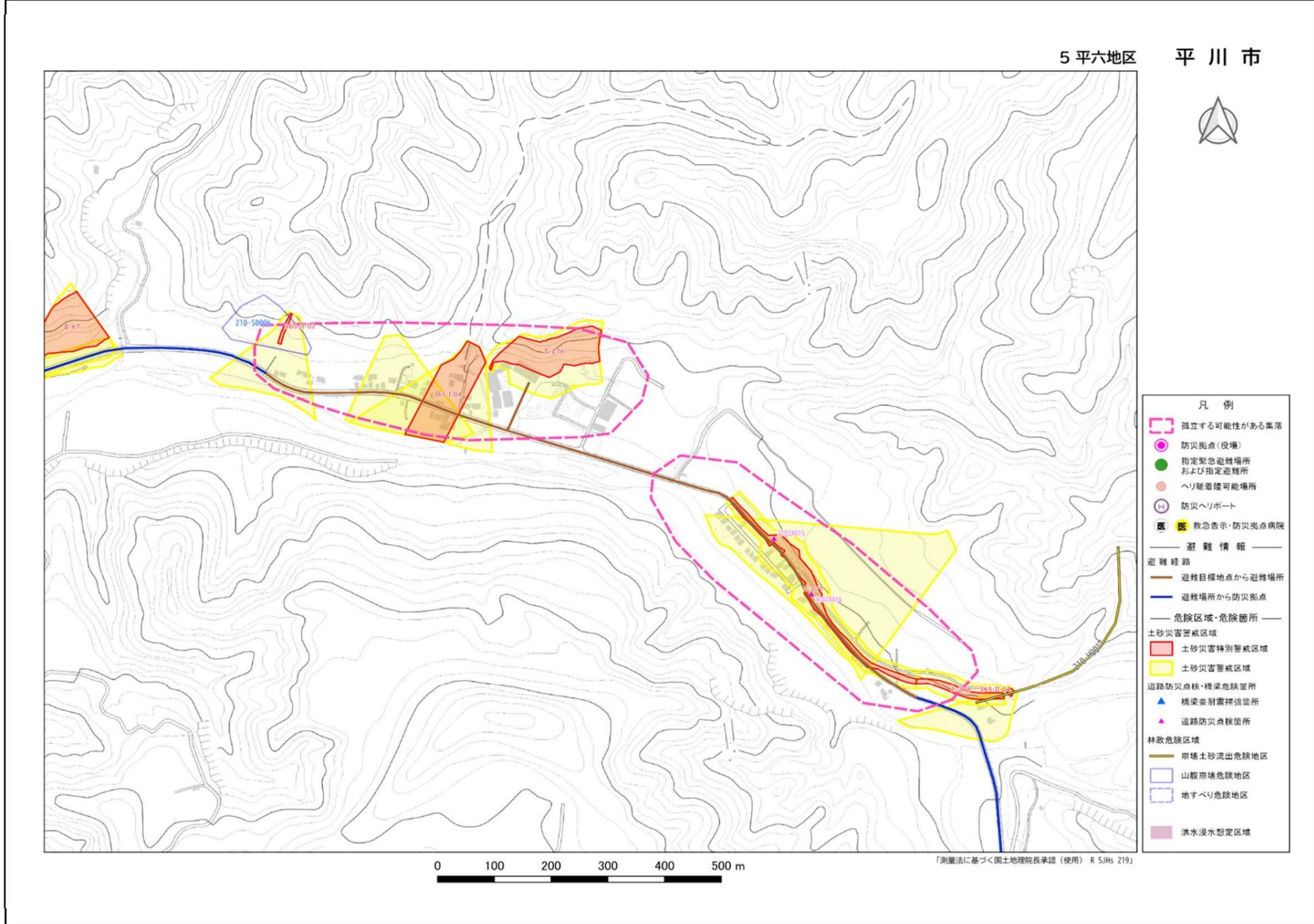
地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
④井戸沢地区（孤立集落）	検討前			・避難場所は1箇所指定されており安全。	・避難所までの経路上に阻害する恐れのある危険箇所はあるが現状では対策不要である。	・隣接する地区のヘリポート1箇所利用可能。	・国道102号上にある危険箇所の対策完了後、孤立する恐れは解消する。	孤立する
	検討後			・避難場所は一本木コミュニティセンターを利用する。（井戸沢集会所は危険箇所内にあるため利用不可である）	・一本木コミュニティセンターへの避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。	・葛川地区の旧平川市立葛川小中学校グラウンドはヘリ離着陸可能である。	・国道102号上にある危険箇所の対策完了後、孤立する恐れは解消する。	孤立する

4.物資の輸送手段の確保

・隣接する地区の旧平川市立葛川小中学校グラウンドはヘリ離着陸可能である。

防災公共推進計画 中南県土整備事務所管内【平川市】⑤平六地区（孤立集落）検討結果

1.地区の検討図面



2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所（地区内）		
避難所・避難場所名	避難所種別	
JA津軽みらい葛川野菜センター	避難所（無指定）	
2-2.利用可能な避難場所（地区外）		
避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
葛川集会所	②葛川地区	指定緊急避難場所
旧平川市立葛川小中学校グラウンド	②葛川地区	避難場所(無指定)
2-3.利用不可な避難場所		
避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別
-	-	-

3.避難経路の確保

・JA津軽みらい葛川野菜センターと葛川地区の葛川集会所への避難経路上に危険箇所があり未対策である。  
 ・当地区及び国道102号上にある危険箇所の対策完了後、孤立する恐れは解消する。

事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
土石流	365- I -04	県	平六沢	【未実施】

【地区の検討結果】 ※平川市の検討地区内には洪水浸水想定区域はない。

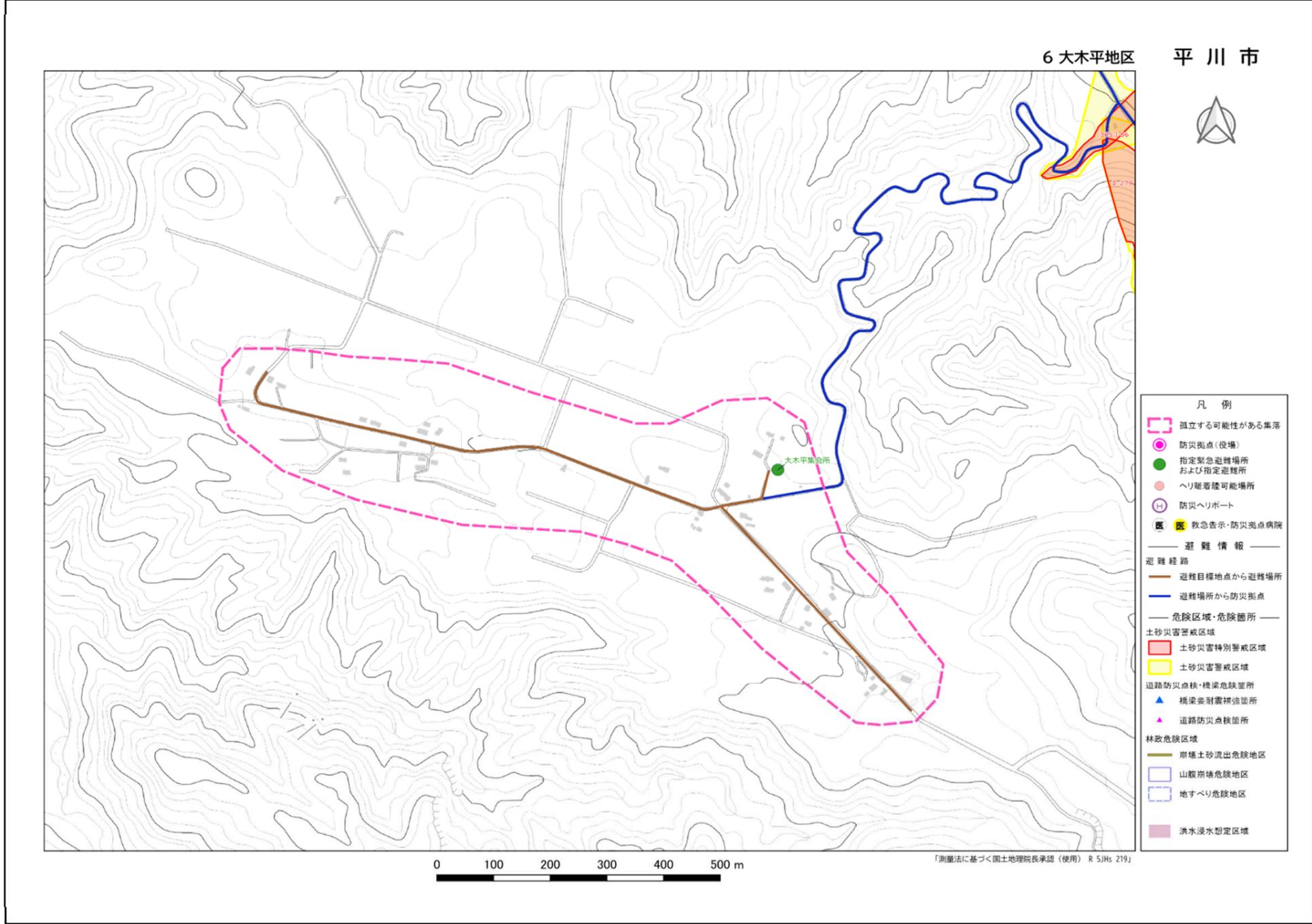
地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
⑤平六地区 (孤立集落)	検討前	/	/	・避難場所は1箇所指定されており安全。	・避難所までの経路上に障害する恐れのある危険箇所はある。	・隣接する地区のヘリポート1箇所利用可能。	・当地区及び国道102号上にある危険箇所の対策完了後、孤立する恐れは解消する。	孤立する
	検討後			・避難場所はJA津軽みらい葛川野菜センター（指定避難所ではない）と葛川地区の葛川集会所を利用する。	・JA津軽みらい葛川野菜センターと葛川地区の葛川集会所への避難経路上に危険箇所（土石流365- I -04）があり未対策である。	・葛川地区の旧平川市立葛川小中学校グラウンドはヘリ離着陸可能である。	・当地区及び国道102号上にある危険箇所の対策完了後、孤立する恐れは解消する。	孤立する

4.物資の輸送手段の確保

・隣接する地区の旧平川市立葛川小中学校グラウンドはヘリ離着陸可能である。

防災公共推進計画 中南県土整備事務所管内【平川市】⑥大木平地区（孤立集落）検討結果

1.地区の検討図面



2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所（地区内）		
避難所・避難場所名	避難所種別	
大木平集会所	指定緊急避難場所	
2-2.利用可能な避難場所（地区外）		
避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
-	-	-
2-3.利用不可な避難場所		
避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別
-	-	-

3.避難経路の確保

・大木平集会所への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。  
 ・平六地区及び国道102号上にある危険箇所の対策完了後、孤立する恐れは解消する。

事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
土石流	365- I -06	県	大木平沢	【未実施】

【地区の検討結果】 ※平川市の検討地区内には洪水浸水想定区域はない。

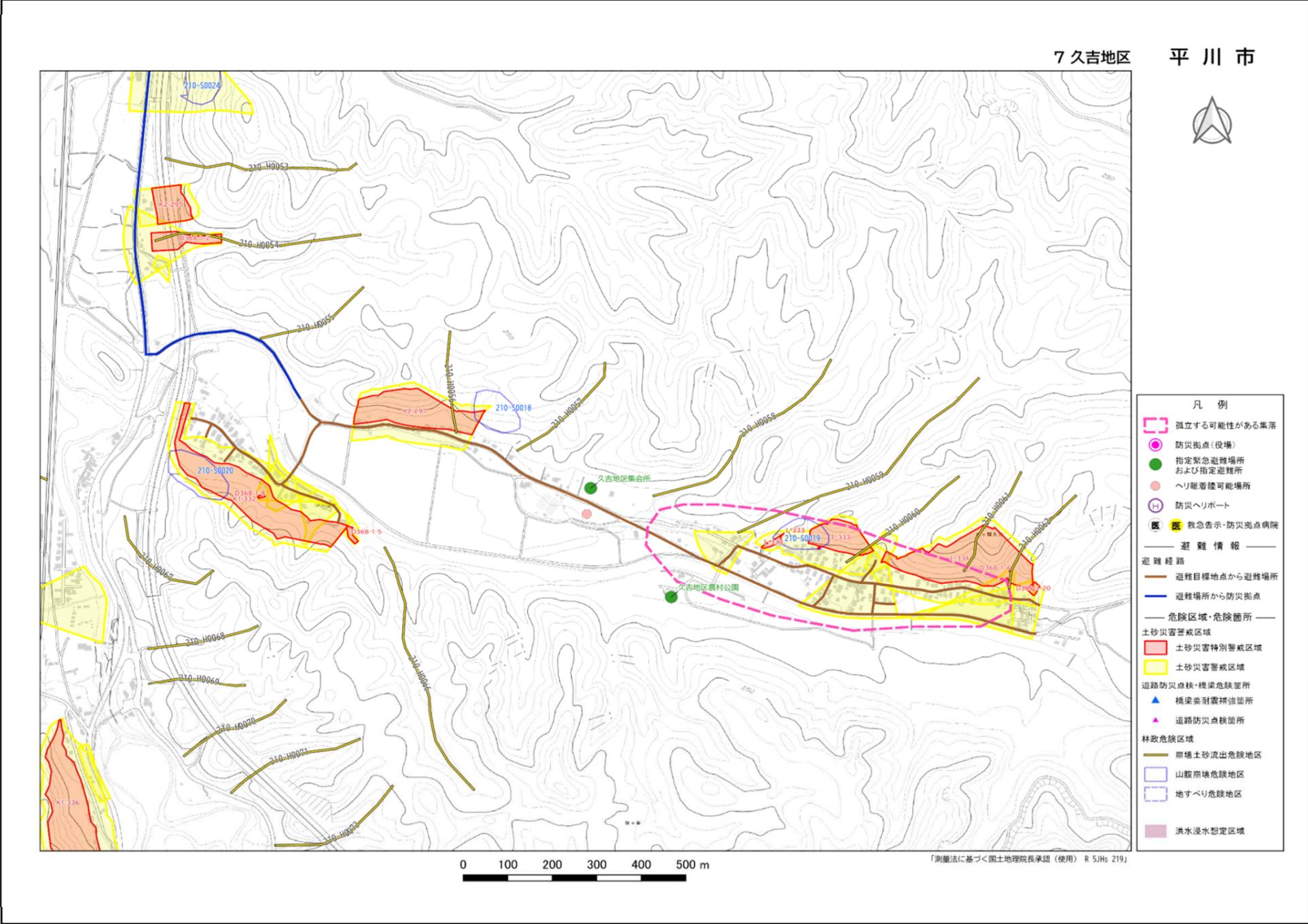
地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
⑥大木平地区 (孤立集落)	検討前	/	/	・避難場所は1箇所指定されており安全。	・避難所までの経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。	・隣接する地区のヘリポート1箇所利用可能。	・平六地区及び国道102号上にある危険箇所の対策完了後、孤立する恐れは解消する。	孤立する
	検討後			・避難場所は大木平集会所を利用する。	・大木平集会所への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。	・葛川地区の旧平川市立葛川小中学校グラウンドはヘリ離着陸可能である。	・平六地区及び国道102号上にある危険箇所の対策完了後、孤立する恐れは解消する。	孤立する

4.物資の輸送手段の確保

・隣接する地区の旧平川市立葛川小中学校グラウンドはヘリ離着陸可能である。

防災公共推進計画 中南県土整備事務所管内【平川市】⑦久吉地区（孤立集落）検討結果

1.地区の検討図面



2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所（地区内）		
避難所・避難場所名	避難所種別	
久吉地区集会所	指定緊急避難場所	
久吉地区農村公園	指定緊急避難場所	
2-2.利用可能な避難場所（地区外）		
避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
—	—	—
2-3.利用不可な避難場所		
避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別
—	—	—

3.避難経路の確保

・久吉地区集会所への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はあるが現状では対策不要である。

事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
—	—	—	—	—

【地区の検討結果】 ※平川市の検討地区内には洪水浸水想定区域はない。

地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
⑦久吉地区 (孤立集落)	検討前			・避難場所は1箇所指定されており安全。	・避難所までの経路上に阻害する恐れのある危険箇所はある。	・当地区の避難場所付近は孤立しないもの、地区内のヘリポート1箇所利用可能。		
	検討後			・避難場所は久吉地区集会所を利用する。(久吉地区農村公園は一時避難場所である)	・久吉地区集会所への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はあるが現状では対策不要である。	・孤立する恐れはないが久吉地区集会所近隣の耕作地はヘリ離着陸可能である。		

4.物資の輸送手段の確保

・孤立する恐れはないが久吉地区集会所近隣の耕作地はヘリ離着陸可能である。